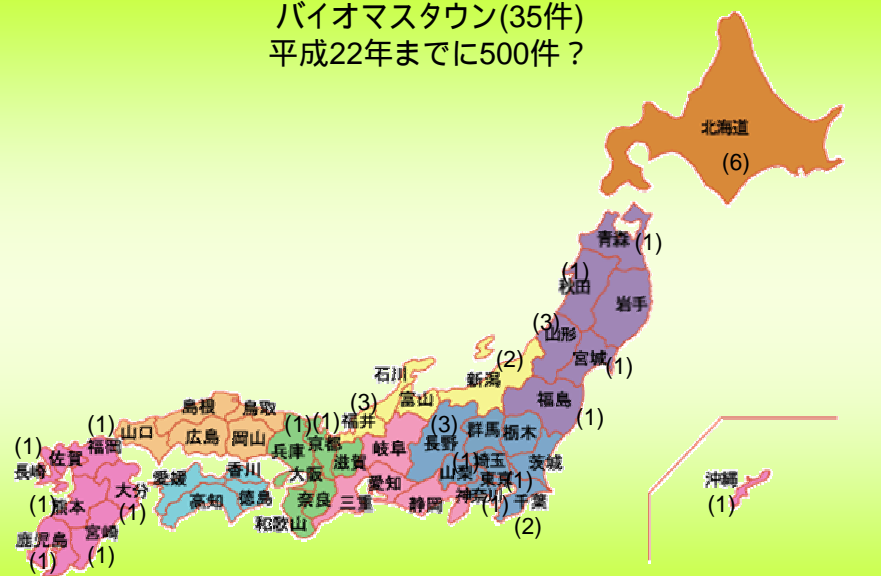


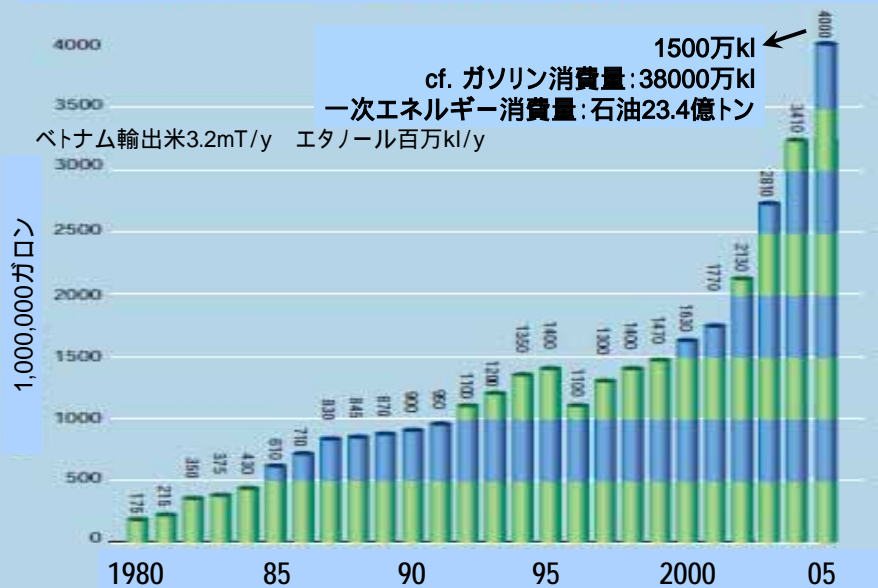
バイオスタウン(35件)
平成22年までに500件？



農水省資料



アメリカ合衆国における燃料アルコールの生産量の変化



Source: U.S. Energy Information Administration / Renewable Fuels Association

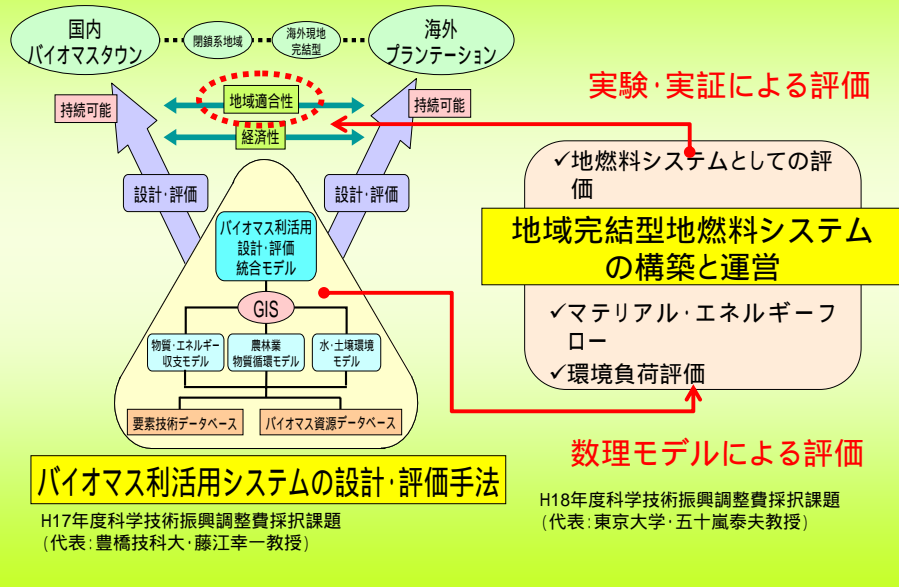
1500万kl ←
cf. ガソリン消費量: 38000万kl
一次エネルギー消費量: 石油23.4億トン

ベトナム輸米3.2mT/y エタノール百万kl/y

補完的課題

- 平成17年度採択: 「バイオマス利活用システムの設計・評価手法」(17-19年度)
研究代表者: 藤江 幸一 豊橋技術科学大学工学部・教授
参画機関: (独)国際農林水産業研究センター、(独)農業工学研究所、豊橋技術科学大学、鹿児島大学、東京大学、(株)循環社会ビジネス研究所
- 平成18年度採択: 「地域完結型地燃料システムの構築と運営」(18-20年度)
研究代表者: 五十嵐泰夫 東京大学大学院農学生命科学研究科・教授
参画機関: 東京大学、山梨大学、(株)総合環境研究所
- 予算はいずれも約1億円/年

H17・18採択研究の相互関連



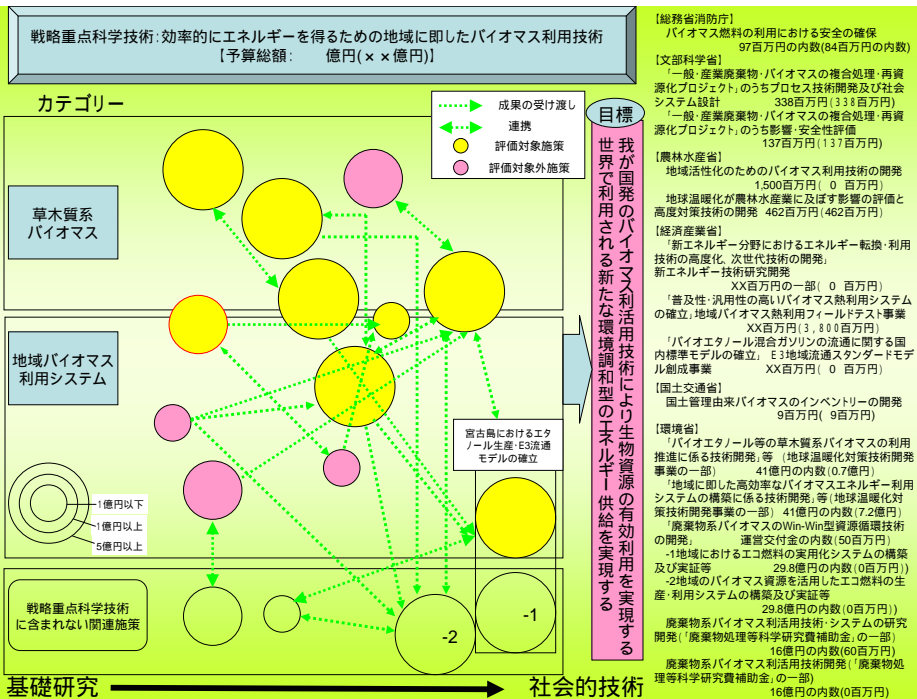
今後のバイオマス利活用連携施策群の展開 - WGの課題 -

前出目標:

- 多様な個別技術開発の現状
 - 総合的な視点による評価手法の確立
- 分散型資源に基盤を置くシステム構築の評価手法
 - 地域における持続可能なシステム
- バイオマスシステム構築上の社会的課題
 - 地域システムの推進上の社会制度、地域文化
 - バイオマス社会構築のポテンシャル

これらの上に、各省庁間の連携事例のさらなる構築:

- 沖縄事例を先例とする具体的連携事例の提案・推進
- 省庁間連携を容易とする文化構築
- 地域における受け入れ態勢構築支援
- 一般・民間との関係強化



バイオマス?

- カーボン・ニュートラル
 - 移行期における大気中の炭素バランス
- 輸入バイオ燃料の抱える問題
 - 東南アジア・ブラジルの情勢、生態系保全
 - 食料との競合
- 国産バイオ燃料利活用の課題
 - 事業性・経済性
 - 地域振興の説得性
- 統合的な開発哲学の確立・パラダイムシフトを